

ここできしかできないことがある

6年間の成長の場に意欲を持って来て欲しい

2015年
6月26日
取材



やりたいことをかなえるために

4月の取材から2カ月余り、tvk(テレビ神奈川)「CHUMAN進学ナビステーション」テレビロケに合わせ相模原中等を訪問しました。今回は校長先生、教頭先生のお話に加え、授業の様子もしっかり見学してきました。

「模試では期待できる結果が出ていても、本番はどうだろうと教職員が心配する中、1期生からの合格報告に職員室は沸きかえったと聞いています」と坂本校長先生。副校長として相模原中等前期課程3年間を指導され、今年4月に校長として戻ってこられました。卒業生152名中、国立大には55名が合格、現役合格率36%は平塚中等の31%とともに、県内公立校トップクラスの実績となりました。その背景を坂本校長先生はどう見ているのでしょうか。

「6年間」貫のカリキュラムや5年生までほぼ全員が同じ科目を学んだというのも、成果につながったのだと思います。しかし、ちばんは、自分のやりたい学習をより良い環境でやりたいという強い気持ち。彼らにはあったということでしょう。3年生では職業を考へ、4年生では「自己発見チャレンジ」で大学のキャンパスをまわってみたい、職業体験に行ってみたりという仕掛け、自分がやりたいことを探る時間を十分とりました。もちろんすぐに希望進路が決まるというものではありませんが、大学名だけで選ぶような生徒はいませんでした」

さらなる理想を目指して

後期課程は単位制ですが、5年生生まではほぼ必修選択科目で時間割が組まれ、6年生から自由選択科目が増えます。空き時間を自習室などで黙々と勉強に励む、6年生の姿が印象的です。鈴木教頭先生は、「2期生3期生の子たちも、1期生同様に力を発揮してくれるだろうと期待しています。確かに、校舎全体に力強さがみなぎっているように感じられました。これからの相模原中等について校長先生にお聞きしました。

「1期生の実績からも、創立当初掲げた理想のものがある程度達成できたと思っております。今年の1年生から新しい大学入試に変わるわけですが、そこで求められる力は、まさに本校が力を入れて成果を上げていく部分です。さらに磨きをかけていくという意味で、教科融合型の授業がもっと展開

課題を発見し解決法を見つける

鈴木教頭先生は「口だけは達者で可愛らしかった1年生が、ちゃんとしたことが言える大人になって卒業していく。その6年間の成長を見られたことは、私自身も良い経験でした。最初は前例のないことをやらされていると、1期生は感じていたようです。それが卒業間際になると「あれで良かったんだ」と振り返っていました。

坂本校長先生は「グループの中で自分の意見を相手にきちんと伝え、相手の意見もきちんと聞く。そしてグループとしての意見をまとめる。いろんな授業でそのような活動があります。それは社会で求められる力だからです。課題が何であるか発見し、自分の知識だけでなく人と協働してその解決方法を探し出す力です。そういった力がつくようにいろいろ仕掛けをしていますし、ツールとしての英語力、ICT活用にも力をいれています。それでは実際の授業を見学していきます。

「鍛えられている」が伝わる授業

まずは3年生の英語。オールイングリッシュの授業はテンポ良く進み、生徒たちの発音も流ちょうです。生徒の英語による発表が終わると、拍手が沸き起ります。わずかな数分で、いかに生徒が鍛えられているかが、生徒と先生の一体感とともに伝わってきます。続いて3年生の「サイエンスチャンネル」です。グループに分かれ物理の実験をしています。実験機材も充実しています」と鈴木教頭先生。活気ある実験も、ひとたび先生が話し出すと手を止め、全員が先生の方を向き真剣に話を聞きます。このメリハリには感心しました。

負荷をかけて成長を促す

最後に校長先生、教頭先生から受検生・保護者の方に向けてのメッセージをご紹介します。今号の結びとします。

「本校は決して楽な学校ではありません。宿題はたくさん出ますし、部活動も前期課程では週3回と制限を受けます。その一方で、本校でできないこともたくさんある。ここで頑張りたいという気持ちを強く持って入学してきてほしいと思います。そして保護者の方には特に健康管理。万全の体調で試験に臨めるようお願いいたします」(鈴木教頭先生)

「説明会などからは本校の楽しい部分ができる」と良いですね。英語の教科書に環境問題が載っていたら理科の先生と一緒に考察ができるなど、縦割りではなく横断的な体制が組めると理想ですね」



年間貸し出し冊数は3万冊。

相模原中等教育生が1年間に借りた本は実に3万冊。一人あたり31冊、月2冊以上は僕に読んでいる計算になる。ちなみに蔵書は生徒のリクエストを基本に増やしているという。

相模原中等教育学校紀要 第1号(2015年3月発行)

後期課程で1期生が取り組んだ課題研究の成果発表会が昨年7月に平塚中等教育と合同で開催された。その発表代表者6名を含む生徒互選による15編の論文が紀要第1号にまとめられた。

DATA 神奈川県立相模原中等教育学校

合格実績 2015年度実績抜粋

国公立大 計55名
早慶上智 計82名
明青立法中東 理科 計167名
私立大学 計453名
卒業生数152名

access

相模原中等教育学校

相模原市南区相模大野4-1-1
TEL (042) 749-1279
FAX (042) 740-2852
相模大野駅北口エスカレーターを降り伊勢丹、中央公園を横切り徒歩約10分

学校説明会 ※8月以降
8月3日(月) ①11時～ ②14時～
相模女子大学グリーンホール
相模原中等教育HP申込受付
詳細もHPでご確認ください

学校見学 ※8月以降
8月24日(月)・26日(水)・27日(木)
9月14日(月)・30日(水)
月曜日は10:45～と14:05～
水曜日は10:45～木曜日は14:05～
相模原中等教育へ電話予約



相模原中等教育をテレビで紹介させていただきました

2015年7月10日(金)放送「県立中等教育の今」

相模原中等教育・平塚中等教育の今をレポートしたCHUMAN進学ナビステーション。放送では生徒の声もご紹介しました。質問に対し、端的にしっかりと受け答える様子に感心しました。

毎月第2金曜日「ニュースパー」内放送中

